



福島支部会報 6号

日本山岳会福島支部

(平成 27 年 7 月から 9 月の活動)

Oct . 15 . 2015 (平成 27 年)

公益社団法人日本山岳会福島支部

支部長 小林 正彦

事務局 〒960-8133 福島市榎木町 13-43

渡部 展雄 宅 気付

電話 (FAX) : 024-533-0541

公益目的事業実施報告

安達太良・鬼面～箕輪コースの整備

7月3日(金)午前8時半、支部会員11名が新野地温泉・相模屋駐車場に集合し、鬼面山～箕輪山登山コースの刈払いを完了。特に清野義美、渡辺敏雄両会員が担ぎ上げた下刈り機が大活躍しました。このほか深谷金之助、伊藤義男、江花俊和、菊池道彦、橋本亮三、青柳勲、佐藤一夫、渡辺健二、渡部(展)支部員が持参した鎌、鉋、鋸などを使い大いに汗を流した。

「8.11 山の日広報」in 那須・三本槍岳

来年から8月11日が「山の日」として国民の祝日に制定されるのに伴い、那須・三本槍岳山域において小林支部長以下支部員9名、HAT-J福島支部会員4名による広報活動を実施した。これは下郷、西郷、那須の3町村教育委員会が昨年より中学生を対象に取組んできた登山と交流(故事学習体験・50名参加)の活動を福島支部がサポートし、あわせて山の日広報を一般登山者に訴え、栃木・福島県にまたがる活動を展開させた。



中学生に対する登山の諸注意(高田雅雄会員)、山頂での広報(江花俊和会員)、山頂での記念撮影

吾妻山登山道整備事業(9/6 悪天候で中止)

平成 23 年から支部独自活動として進めてきた「吾妻山・賽の河原～一切経」コースの整備回復事業は、9月6日の天候が大荒れとなり中止しました。

共益事業報告

燕コマクサ紀行登山～7/22(水)～7/24(金)

7月22日(水)～24日(金)の日程で、支部年間事業計画に基づく「燕岳コマクサ紀行登山」を実施、6名が参加した。中でも伊藤義男氏は80歳の健脚を披露、土屋信雄氏は、元職場同僚で日本山岳会入会希望者を誘い、福島支部を大いに宣伝した。



北海道・東北地区集会参加、大雪山等登山

9月12日(土)、13日(日)の両日、「北海道・東北地区集会」が開催(札幌市定山溪温泉)され、福島支部から9名が参加、1道5県支部と大いに交流を深めました。



記念講演に立たれた北海道大学 工藤岳准教授の「高山植物生態学」に関する研究成果は、今後の植生保護活動に大いに役立つ内容でした。集会2日目の記念登山は悪天候のため中止、散会しましたが、集會に前後して清野義美、土屋信雄支部員による「ニペソツ岳」、佐藤一夫副支部長ほか5名が「大雪山・旭岳」を登り、錦秋の北海道を満喫。(往・復路とも仙台～苫小牧間フェリー利用)

恒例の吾妻小舎納涼会(9/5)実施

9月5日(土)夕から吾妻小舎で恒例の「納涼会」を開催、やや少ない7人の参加者でしたが小舎管理人高橋さんの旨い料理に舌鼓をうちながら、行く夏を惜しみ、大いに酒杯を傾け、懇談しました。今年は一切経山の噴火警戒とそれに伴う通行規制があり、登山者数も激減するという周辺山域の環境変化の中で開催となりました。



事務局からのお知らせ

平成28年度全国支部懇談会(新潟)の開催

平成 28 年度の「全国支部懇談会」は、4月9日(土)、8日(日)の両日新潟県弥彦山を中心に開催されることが決定しました。越後支部は福島支部とのかかわりも深く、多くの皆さんの参加をお願いします。

支部創立「70 周年記念誌」寄稿のお願い

11月13日(金)13:30 から福島市民会館において「支部創立 70 周年記念事業第 2 回実行委員会」を開催します。特に記念誌発行については逸見征勝編集委員長を中心に、着々と準備を進め、現在複数の方々から寄稿を受けています。ご多忙中のところ早い段階での寄稿をお願いします。

訃報 (元福島支部長佐久間高男様)

平成 7 年 4 月から平成 20 年 3 月までの長期にわたり日本山岳会福島支部長をお勤めになられた佐久間高男様(88歳・JAC 永年会員)は、9月2日逝去されました。衷心よりご冥福をお祈りします。佐久間様は日進堂印刷会長、日本弘道館柔道 7 段など経済人、武人としてご活躍され、晩年は支部新年会等の席で静かに杯を傾げる姿が忍ばれます。



かつての山仲間と

ありし日の佐久間様